

体験活動推進プロジェクト 防災キャンプ推進事業

静岡県防災キャンプ推進事業

静岡県教育委員会

【事業のポイント】

- 県内3地区(東・中・西)でのキャンプ実施。
- 地域の特色を生かした防災教育・体験プログラム、避難所運営検証の実施。
- 自主防災活動推進大会での活動紹介。
- 各種広報誌等による事業成果の普及啓発。



応急手当訓練

1. 企画

(1) 事業実施の背景

静岡県は、東海地震、さらには南海トラフ巨大地震発生による甚大な被害が想定されている。今後の地震防災対策では、施設・整備等の「公助」に加え、住民に対する「自助」の大切さを普及啓発し、青少年も含めた多くの地域住民が防災活動の重要性を理解するとともに、訓練による体験を通じた実践力を身に付けていくことが求められる。そのためには、学校・家庭・地域が一体となり、防災の知識、技能、発達段階に応じた避難所における役割等について体験的に学ぶ機会を設けることが必要である。

そこで防災キャンプ推進事業における体験活動を通して、青少年の防災意識や実践力を高めると共に、避難所での青少年の役割を地域の大人とともに検証する機会とする。学校は、避難所生活における施設管理者としての関わり方や、青少年への防災教育についても、あわせて検討していく。そして、このキャンプで得られた成果を、県内全ての市町、自主防災組織、学校等に、具体的なモデルとして情報提供し、より実効性の高い訓練や各種防災活動の充実・強化に役立てていくものとする。

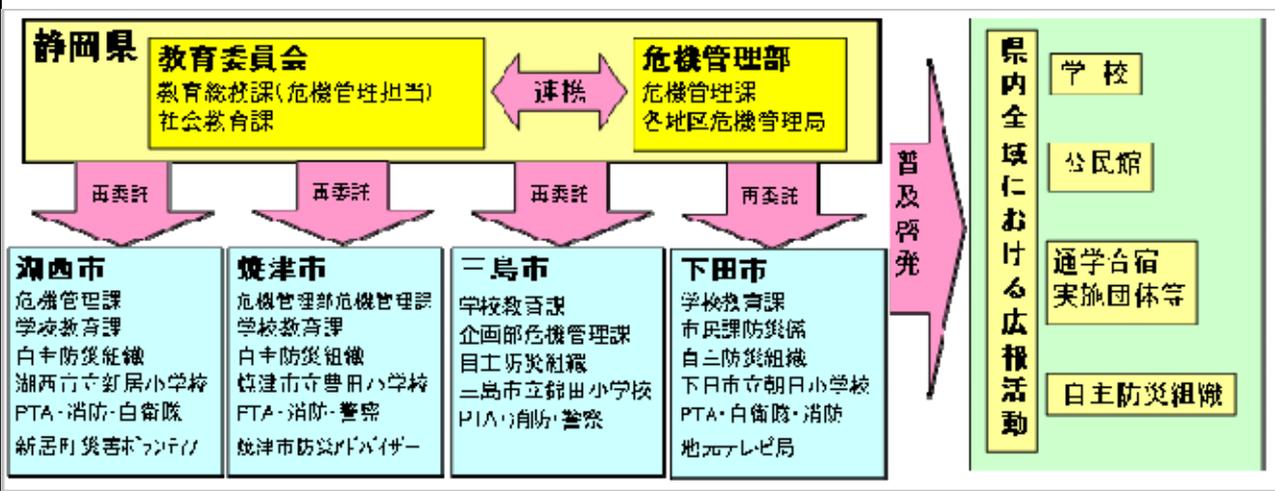
キャンプ実施地域は、普及啓発の効果を高めるため、県内東・中・西部地区から下田市、三島市、焼津市、湖西市を選定した。4地区では、小学生向けの防災教室や避難訓練を計画したり、避難所生活を体験したりする中で、命の大切さ、避難所での生活の仕方、災害発生時の小学生の役割等を学ぶ機会とする。

(2) わらい

- 各地域で想定される災害や被災時の対応等を学ぶ。
- 避難所での生活体験を通して、被災時の青少年の役割・活躍の場を検証する。
- 課題の抽出・対応の検討により、防災キャンプ実施モデルとして成果をまとめ普及する。
- 地域の関係機関・組織等との連携体制を構築し、地域の絆を深める。

2. 事業概要

(1) 運営体制



(2)開催実績	
月 日	内 容
平成25年 5月27日(月)	静岡県防災キャンプ第1回推進委員会
平成25年6月～ キャンプ実施前	各地区防災キャンプ運営委員会<各地区>
	参加者説明会<各地区>
	防災キャンプ準備会<各地区>
平成25年 7月27日(土) 28日(日)	三島市防災キャンプ (三島市立錦田小学校区)
平成25年 8月17日(土) 18日(日)	湖西市防災キャンプ (湖西市立新居小学校区)
平成25年 8月24日(土) 25日(日)	焼津市防災キャンプ (焼津市立豊田小学校区)
平成25年 8月26日(月) 27日(火)	下田市防災キャンプ (下田市立朝日小学校区)

◎各地区参加人数

対象	児童 生徒	保護者	自主防	自治会	教職員	行政 職員	他	計
下田	41	17	9	19	12	15	8	121
三島	12	11	4	35	40	19	12	133
焼津	35	16	134		4	34	40	263
湖西	202	13	58	51	10	13	40	387
合計	290	57	205	105	66	81	100	904

平成25年 8～9月	各地区防災キャンプ運営委員会<各地区>
平成25年 10月4日(金)	静岡県防災キャンプ第2回推進委員会
平成25年 10月21日(月)	静岡県防災推進委員会
平成25年 11月10日(日)	自主防災活動推進大会(成果報告)
平成25年12月 ～平成26年2月	広報紙、リーフレット、ホームページ等で成果の広報

◎自主防災活動推進大会(菊川文化会館)



3. 防災キャンプ実施概要

①下田市防災キャンプ 平成25年8月26日(月)・27日(火):下田市立朝日小学校

(1) 運営体制

下田市教育委員会学校教育課が中心となり、防災キャンプを推進した。自治会との連携による夜間の避難訓練や地区の防災マップの発表など、学校での防災教育の充実を視野に入れたプログラムを実施した。

【関係団体】

下田市教育委員会、朝日小学校、賀茂危機管理局、下田市市民課、吉佐美・田牛区自主防災会、陸上自衛隊駒門第1戦車大隊

(2) 実施内容

【1日目】

13:00 開会式

13:40 防災学習①



液状化の体験学習

ペットボトルに砂と水、消しゴム等を入れ、液状化の仕組みを体験を通して理解する。



自衛隊装備品の説明・見学
装甲車の乗車体験や装備品の説明を聞く。



応急手当体験

自衛隊員から簡易応急手当の方法を学ぶ。

16:00 防災学習の発表



防災学習の発表

授業で学習した地域防災マップを発表し、参加者と意見交換を行う。

17:15 就寝場所作り



就寝場所作り

親子で協力してダンボールを使い、就寝場所作りを体験する。

18:00 夕食

19:30 夜間避難訓練



夜間避難訓練

学校の裏山に避難し、そこで地元自治会の協力を得て、簡易テントの設営を行う。

21:20 就寝準備



就寝準備(簡易トイレ設営)

簡易トイレを参加児童が協力して組み立てる。

21:45 就寝

【2日目】

6:00 起床

6:30 朝食

9:00 防災学習②

避難所運営ゲーム(HUG)



避難所運営ゲーム(HUG)

避難者が抱える事情を書いたカードを避難所に見立てた平面図に適切に配置できるか模擬体験する。



感想発表

活動に協力したボランティアに感謝の気持ちを伝える。

10:40 防災学習③ クロスロード

11:40 閉会式

②三島市防災キャンプ 平成25年7月27日(土)・28日(日):三島市立錦田小学校

(1)運営体制

三島市教育委員会学校教育課が中心となり、防災キャンプを推進した。「自助・共助」の重要性や避難所における役割を理解し、自主的に行動する能力や実践力を身に付け、防災意識の高揚を目的とした。

【関係団体】

三島市教育委員会、三島市企画部危機管理課、東部危機管理局、錦田小学校、錦田小PTA、自治会、自主防災会

(2)実施内容

【1日目】

9:30 初期対応訓練



避難所開設訓練

5色のガムテープを使い、自分の立場を識別できるようにする。



トイレ水運搬訓練

災害により水道が止まったことを想定して、プールから運ぶ。



初期消火訓練

地元の消防団の協力を得て、実際に消火器の使い方を学ぶ。

12:45 防災講演会

「3.11 学校に何が起きたか」

講師 前仙台市立木町通小学校長

関 一男氏



防災講演会

東日本大震災で経験した避難所運営や当時の様子を語る。

15:00 物資配給訓練



物資配給訓練

事前に物資の配給の順番を話し合っている。



夜間避難訓練

校区、校舎内の危険箇所を中心に歩行訓練を実施する。

15:30 居住場所配置訓練

17:00 夕食

19:30 夜間避難訓練

21:00 就寝準備

【2日目】

6:30 起床

8:00 朝食

9:00 防災講座「クロスロード」



クロスロード

災害時の想定外の問題に対して、「Yes」または「No」で自分の立場を明らかにし、理由を話し合う。



グループ討議

防災キャンプを振り返りながら、グループごとに講義を行い、発表する。

10:30 グループ討議

11:30 閉会式

③焼津市防災キャンプ 平成25年8月24日(土)・25日(日):焼津市立豊田小学校

(1)運営体制

焼津市危機管理部危機管理課が中心となり、防災キャンプを推進した。学校、自主防災会が連携し、地域防災の担い手となる児童自らが避難所での生活体験を通して、災害に対しての日頃の備えや「自助・共助」の重要性を学んだ。

【関係団体】

焼津市危機管理部危機管理課、焼津市教育委員会、中部危機管理局、豊田第9自主防災会、豊田小学校、豊田小学校PTA

(2)実施内容

【1日目】

13:00 開会式

14:00 防災体験プログラム

- ・給水車からの水確保訓練
- ・傷病者搬送訓練
- ・ロープワーク体験
- ・地震体験車による地震体験
- ・初期消火体験



地震体験
地震体験車による地震体験を実施する。



ロープワーク体験
災害時に役立つロープの結び方を消防職員から学ぶ。



初期消火訓練
水消火器を使った消火訓練を実施する。



飲料水運搬訓練
給水車からタンクに水を入れ、避難所までリヤカーで運ぶ。



傷病者搬送訓練
身近にある毛布と棒を使い、けが人を運ぶ体験をする。

16:00 夕食(非常食体験)

19:00 消防車による夜警(子供)
防災講話(大人)



夕食(非常食体験)
常温で食べられるレトルトカレーを味わう。



消防車による夜警
消防団の車両に分乗し、警ら巡回を行う。大人はその間、防災アドバイザーから、地域防災についての話を聞く。

21:00 就寝

【2日目】

6:00 起床

6:30 朝食

8:00 応急手当講座

9:30 レポート作成

11:10 閉会式



応急手当講座
スーパーの袋など日用品を代用して、応急手当の方法を学ぶ。



レポート作成
ふじのくにジュニア防災士認定に向けて、防災キャンプの活動を振り返る。

④湖西市防災キャンプ 平成25年8月17日(土)・18日(日):湖西市立新居中学校

(1)運営体制

湖西市危機管理課が中心となり、防災キャンプを推進した。新居地区の自主防災会連合会が主催する夜間避難訓練と共催し、避難所開設・運営に取り組み、実際の災害時に役立てる。

【関係団体】

湖西市危機管理課、西部危機管理局、新居小学校、新居町自主防災会連合会、新居町災害ボランティア、湖西市地域防災指導員連絡会

(2)実施内容

【1日目】

16:00 避難訓練



避難訓練

児童、生徒、地域住民と一緒に各地域避難場所から学校へ避難する。

17:00 夕食(炊き出し訓練)

18:00 開会式

18:15 防災講座



南海トラフ大震災への備え
危機管理局職員から地震の仕組みと災害への備えを学ぶ。



救急訓練

自衛隊員による三角巾を使った応急手当訓練の実施。

20:00 救急訓練

21:20 就寝準備

簡易枕づくり体験

自主防災会が中心となって、三角巾と新聞紙を使って簡易枕づくりを行う。



【2日目】

6:30 起床

7:00 朝食

8:30 防災体験



バケツリレー体験

参加者全員でバケツリレーを体験する。



MCA無線体験

災害時に使用する無線を実際に体験する。



消火器を使った消火訓練

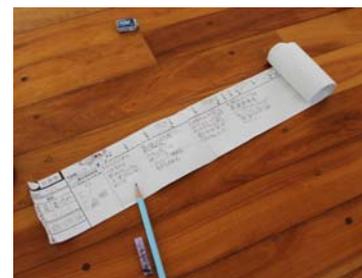
水消火器の使い方を学び、消火訓練を行う。

10:00 災害イメージトレーニング

災害イメージトレーニング

～目黒巻～

災害時の状況を自分自身の問題としてイメージし、自分がどのように行動するかを考える。



11:00 振り返り

11:45 閉会式

4. 普及啓発の実施概要

- 11月10日(日): 自主防災活動推進大会(菊川文化会館)
 - ・パネルによる防災キャンプ実践報告 ・防災キャンプチラシ配布 ・防災キャンプのDVD放映
- ホームページによる事業紹介
- 広報誌等による普及啓発
 - ・防災キャンプ推進事業リーフレット ・静岡県公民館連絡協議会情報誌「たちばな」第188号
 - ・静岡県教育委員会教育広報誌「Eジャーナルしずおか」第125号
 - ・「災害に備える知恵」満載の情報紙「自主防災」No.86 等

5. 成果と課題

(1) 事業成果

【参加者】

- 避難所では、自分だけでなく周りの人への気配りの大切さを感じることができた。(児童)
- 避難所では、協力することが大切で、自分ができることを進んでやりたい。(児童)
- 不自由な生活を体験することで、災害発生時の自分の関わり方を考えさせられた。(地域)
- 防災キャンプを他の学校や地区でも実施し、防災力の向上につなげたい。(行政)
- 防災キャンプを通じて、子どもたちの自主性が表れてきた。(学校)

【組織】

- 計画、運営を通して、学校・地域の連携体制、組織等の見直しや相互の理解が深まった。それぞれの役割や自分たちにできることを見直すきっかけとなった。(行政)
- 障がいのある方の参加があったことで、細かなことに配慮した避難所運営の大切さを実感した。(行政)

【避難所運営】

- 指示システムの明確化、ボランティアの受入れ方法等、実際に体験しないと分からないこと、気付かないことがはっきりした。防災マニュアルの見直しに反映したい。(行政)
- 自主防災会と避難所運営について意見を交わし、協働して実施することは有意義であった。(行政)

(2) 事業運営上の課題・留意点

【参加者】

- 児童、婦人会、自主防災会等の間で、参加者の交流ができるようなプログラムを実施したい。
→各機関等との事前の共通理解や協力体制構築、役割分担を明確にしておくことは必要である。

【組織】

- 今回だけで終わらず、継続していくことが重要であり、学校・PTA・地域がこれからも連携した体制を維持することが必要である。
→日頃から様々な場で協力・連携体制を維持し、継続して防災体制を整備していくことが必要である。
- 運営する側の横の連携をどのように進めるかを考えたい。
- より、多くの参加者を集めるために実施時期をいつにしたらよいか、またどのように広報するべきかを考えたい。
→行政・地域・学校が防災キャンプに対しての共通理解を図り、一体となって事業を企画・運営するための話し合いを十分に持つ必要がある。

【避難所運営】

- 自主防災組織が主体となった運営体制をどのように進めていくか考えたい。
→避難所運営において必要な活動計画やプログラムを作成段階で工夫する必要がある。

(3) その他

来年度、県内4地区で防災キャンプ推進事業の実施を予定している。また、他に防災キャンプ推進事業に類する防災教育推進事業を独自に実施する予定の市町もある。
防災キャンプの成果を引き続き広報していくことで、近隣地区に活動が広がり、県内のより多くの市町で同様の取組が実施されていくことが望ましいと考えている。

6. 団体プロフィール

静岡県教育委員会社会教育課

〒420-8601

静岡県静岡市葵区追手町9番6号

TEL : 054-221-3123

FAX : 054-221-3362

E-Mail : kyoui_shakyo@pref.shizuoka.lg.jp



富国有徳の理想郷—しずおか



Shizuoka Prefecture